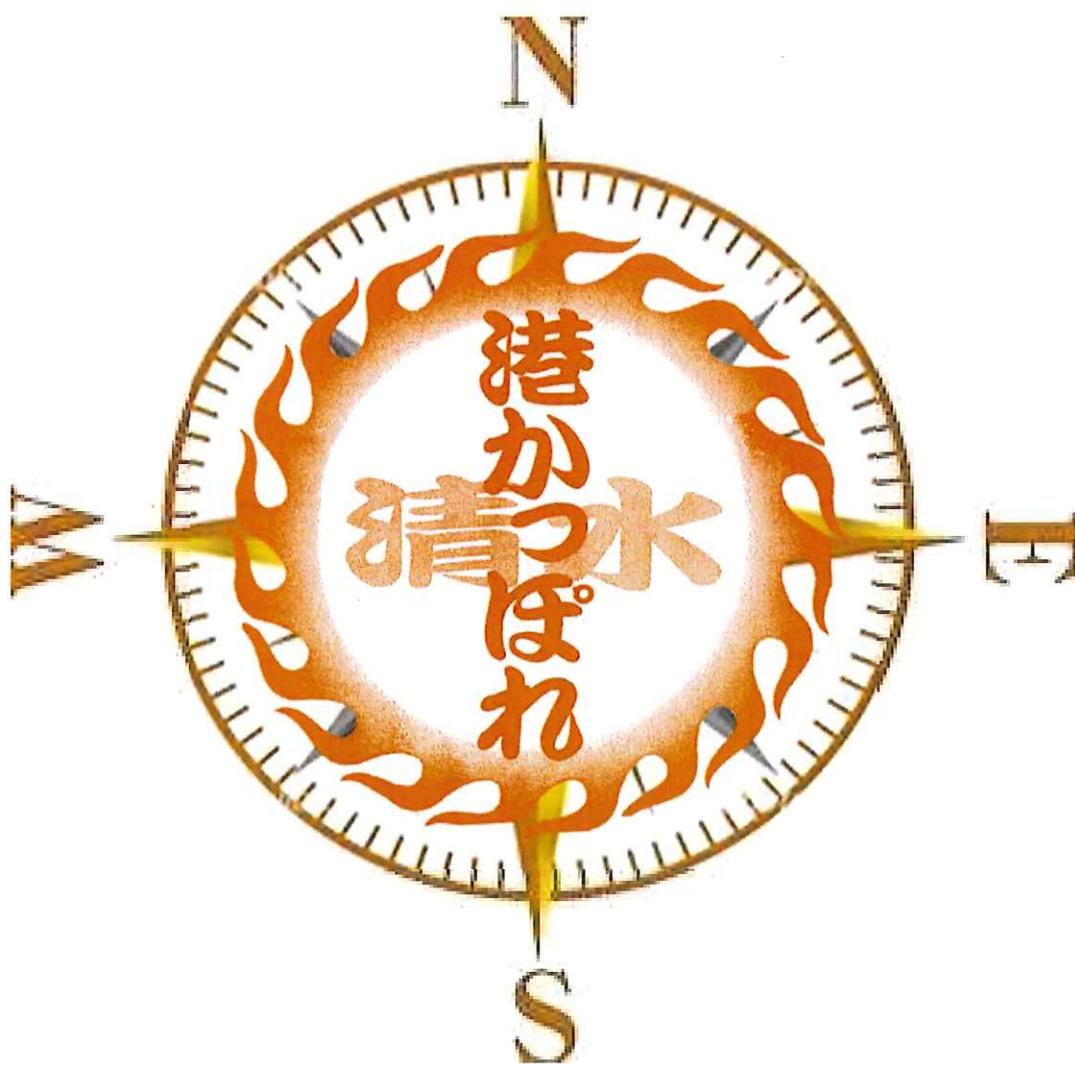


清水 **みなと** 窓口

かっぽれ羅針盤



初版（2024年）発刊

改訂版（2024年9月）

改訂版（2025年4月）



はじめに

昭和22年8月開港記念日に合わせ第1回「清水港祭り」が開催されました。平成15年清水市と静岡市が合併し「静岡市清水区」となり、祭りの形も少しづつ変化を遂げています。「港かっぽれ総おどり」もそれに伴い少しづつ変わってきました。しかしながら、先人達の作り上げた時の気持ちも忘れてはならないと思います。『不易流行』にならい、先人達の意志を継ぎながら、「港かっぽれ総おどり」に参加する総ての人が同じ方向を向きながら、祭りを創り上げることを願い、この『かっぽれ羅針盤』を作成しました。

「かっぽれ丸」の

清水みなど祭り「港かっぽれ総おどり」に参加するすべての人（観る人、踊る人）が

航海の無事を願って

1つの方向に向かって「港かっぽれ総おどり」が安全に楽しめるように

『かっぽれ羅針盤』を作成

「港かっぽれ総おどり」の参加手引き書を作成しました。

「港かっぽれ総おどり」参加者が必ず目を通して総踊りに参加されることを願います。

目次

1. 清水みなど祭り「港かっぽれ総おどり」の歴史

2. 「港かっぽれ総おどり」登録・参加申込み概要

3. 「港かっぽれ総おどり」参加心得

4. 「港かっぽれ総おどり」踊り手心得

5. 「港かっぽれ総おどり」見学者へのお願い

清水みなと祭り港かっぽれ総おどりの歴史

第1回清水港祭り開催

昭和22年8月
(1947年) 「清水港祭り」は、昭和22年終戦直後の暗い世相と経済の荒廃から立ち上がり、市民の心に明るさを取り戻そうと旧清水市・清水商工会議所が中心となり、第1回が開催されました。当時、発足した『清水港祭りの会』では、その目的を「港都の発展を祝福するとともに、港を中心に郷土愛を深めるための港祭りを明るく楽しい市民の年中行事として主催する。」とし開催日を清水港開港記念日にあたる8月4日前後に行うことを決めたのです。祭りは3日、4日に、ボートレース、市民演芸大会、花火大会等が開催された。

第2回清水港祭り開催

昭和23年8月
(1948年) しみず音頭制定。「港おどり」「次郎長おどり」「みなと小唄」等がさつき通りで実施された。

第4回清水港祭り開催

昭和25年8月
(1950年) 「ミス清水選定会」が加わりミス清水の候補者写真をもとに、人気投票が行われた。投票総数144,733票、開票に30名の係員が要したと報道されている。

第6回清水港祭り開催

昭和27年8月
(1952年) 次郎長通り商店街が「次郎長道中」のアイデアを出し、清水次郎長六十年祭にちなみ次郎長一家道中が行われ、祭りに花を添えた。この次郎長道中は、その後名物になり、日専連全国大会に出場するなどし、国内各地の話題となった。

第13回清水港祭り開催

昭和34年10月
(1959年) この年は、旧清水市・ストックトン姉妹都市提携の都合により祭りは、10月16日から18日に開かれた。開港六十周年、市制施行三十五周年と会わせ、盛大な催しが市内各所で繰り広げられた。

その後 「清水おどり」、「花の次郎長さん」、「新駿河節」の曲が追加された。盆踊りとして旧清水市内の町内会で同じ踊りが楽しめるよう、市内のあちらこちらへ芸者衆が出向き、踊りが披露された。

昭和49年7月
(1974年) 7月7日に、七夕豪雨が清水の街を襲い、その年は、大きな被害が発生し祭りは中止となる。一度じっくり祭りの形を考えようと言うことになった。多大な被害を受けた、市内路面電車が廃止となる。

第29回清水みなと祭り開催

昭和51年8月
(1976年) この年から「港祭り」の名称表記は第29回からの実行委員会運営方式の導入に伴い、市民総参加の祭り(みんなと祭り)をめざして「みなと祭り」へと名称表記を変えた。市民有志の実行委員会が立ち上がり、「新生みなと祭り」と銘打ち、歩行者天国、縁日広場等が設けられ企業、団体、サークルによる手作りのイベントがさつき通りで繰り広げられた。

第30回から39回までの清水みなと祭り

昭和52年から
昭和61年 「市民まつり」に定着させるため、心殿建立、ブルーインパルス祝賀飛行、くじ付わうわ販売、俳句大会、各自治会の前夜祭、ミスコンテストの復活、地区対抗のど自慢大会、市民総おどりへの企業参加など市民の連係と共感を盛り上げ、祭の充実と拡大が図られ第40回を迎えるに至った。

昭和60年代、和太鼓を組み入れたステージを公演していた「竜童組」の宇崎竜童氏に踊りの曲の作曲を依頼し和洋の音楽が見事に融合した『港かっぽれ KAPPORE FUNK』が誕生した。

「かっぽれ」のルーツは、大阪の住吉大社に古くから伝わる住吉おどりが後に江戸に伝わり「かっぽれ」と名を変え大道芸として全国に伝わる。踊りの振り付けを江戸芸かっぽれ家元・櫻川びん助氏にお願いした。住吉大社は、神功皇后の百濟支援の折、ご神託により鎮座したもので、この百濟支援のための軍艦を、清水いほらの長が仕立てたのが、清水港のルーツとも言える。住吉大社と同じく航海の無事を願う神社が矢倉神社である。ここにかっぽれ絵馬を奉納し毎年清水みなと祭りの無事を願って祈願している。

第40回清水みなと祭り開催

昭和62年8月 『港かっぽれ KAPPORE FUNK』登場。竜童組により、日の出埠頭で披露される。夜
(1987年) には両日併せて約3万人が2キロメートルの輪に参加した。宇崎竜童作詞作曲の『港
かっぽれ KAPPORE FUNK』の強力な衝撃は、総おどりの参加者を飛躍的に増大させ、
みなと祭りだけでなく、その後、市内の小・中・高校の運動会などで踊られた。

第45回清水みなと祭り開催

平成4年8月 「活惚レゲエ」誕生。夏の夜を焦がすレゲエのリズムを基調とする。竜童氏宣わく、"や
(1992年) さしい踊りは飽きられる" "難しい踊りが踊れるから人は見せたくなる"と。この年記念行事として「ヒューマンセッション'92 1万人の港響曲」を開催、清水港日の出埠頭が熱くなった。「活惚レゲエ」は挿入曲として紹介され、その後総おどりで踊られるようになった。阿木燿子作詞、宇崎竜童作曲がここから始まる。

第50回清水みなと祭り開催

平成9年8月 「かっぽれ佞武多」誕生、青森のねぶた囃子を基調とする踊り。
(1997年)

第55回清水みなと祭り開催

平成14年8月 「かっぽれエイサー」誕生 沖縄エイサーのリズムを基調とする。
(2002年)

清水橋架け替え工

平成18年7月竣工 老朽化した清水橋の掛け替えにより、踊りの輪がひとつでなくなっていたが、この年の清水橋完成により、踊りの輪は再び、ひとつになる。しかし、完成した清水橋の上は揺れがひどく、見学者もいないため踊り手の不評もあり、安全面を考慮して踊りを踊らないことになる。

第65回清水みなと祭り開催

平成24年8月 「清水の気質が、フラメンコの情熱に似ている」と「かっぽれ・フラメンコ」が誕生し10
(2012年) 年ぶりに新曲として加わった。

第73回清水みなと祭り開催

令和4年8月 2年間、コロナにより開催休止となっていた清水みなと祭りが復活する。通算回数は休
(2022年) 止期間を除き第73回とした。

第75回清水みなと祭り開催

令和6年8月 清水みなと祭りを支えてきた各種団体による、記念事業「清水港活惚祭」を開催。
(2024年) 『かっぽれ羅針盤』発刊

「清水みなと祭り」は清水の文化、そして伝統であります。『これがみなと祭りだ』を合い言葉に笑顔と活気にあふれ、安心・安全な祭りを目指し、これからも市民総参加を旗印に多くの皆さん之力で「みなと祭り」そして清水を盛り上げていきましょう。

港かっぽれ総おどり、踊りたいな。



清水みなと祭り港かっぽれ総おどり参加しておどりたいと考えているあなたに

方法は三つあります

- 1, 飛び入り連に参加する。
- 2, 踊っている連に入れてもらう
- 3, 自分で連を立ち上げて参加する



飛び入り連てなに？

毎年、港橋ゾーンで開催される有料の踊りスペースです。
当日受付で受付が済めば踊りの連に入れます。
給水はありませんので各自対策を取ってください。
有料ですが手荷物一時預り場所があります。



踊っている連にすぐ入れてもらえ踊れるの？

当日の参加はできません、各連は事前に人数を登録して踊っていますので当日変更はできませんので踊れません。踊りの練習会で知り合うか、当日連絡先を交換して来年踊るとかの方法をとってください。



自分たちの連を立ち上げるにはどうすればいいの？

そう思ったら、仲間を集めましょう。代表者（あなた）連頭、見廻り頭、他8人くらい集めてください。
このしおりにある、連頭心得、見廻り頭心得などをよく読んで事を進めてください。
4月の中旬頃に開催される、新規連説明会に参加して参加申込書を手に入れてください。

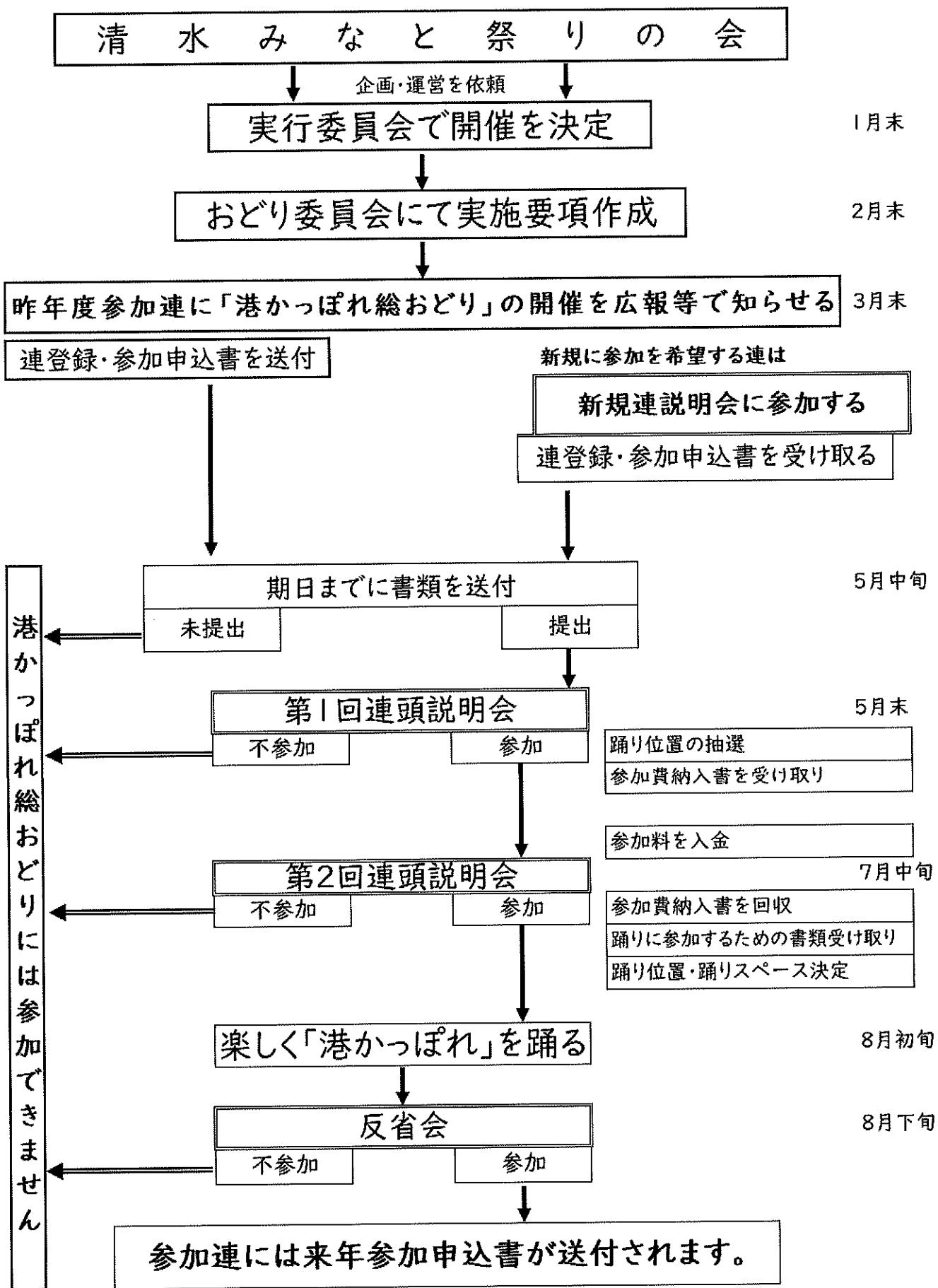


参加申込書を手に入れたら期日までに提出してください。

踊の練習、アピールボードの作成、台車の調達、連衆の教育などの他、
3回の連頭説明会に参加してください。

さあ、一緒に踊りましょう





清水みなと祭り「港かっぽれ総おどり」参加概要

本参加概要是、踊り参加希望者が「連登録・参加申込書」を記載するに当たり標準的な記載方を示したものであります。実際の申込みは参加要項の申込書を使用してください。

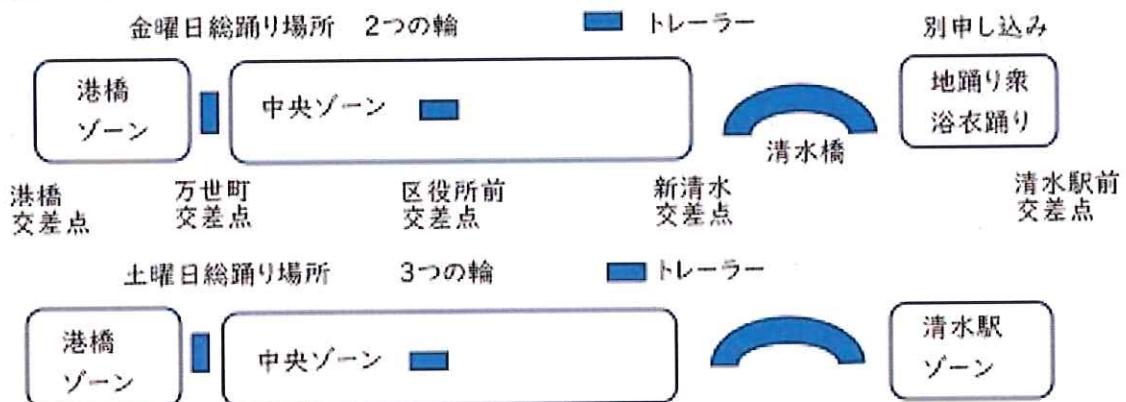
1. 開催日時

8月の第1日曜日までの金曜日・土曜日の二日間(参加要項に記載)

※事情により開催時期、時間が変更になる場合があります。

2. 踊り方

①踊りゾーンについて



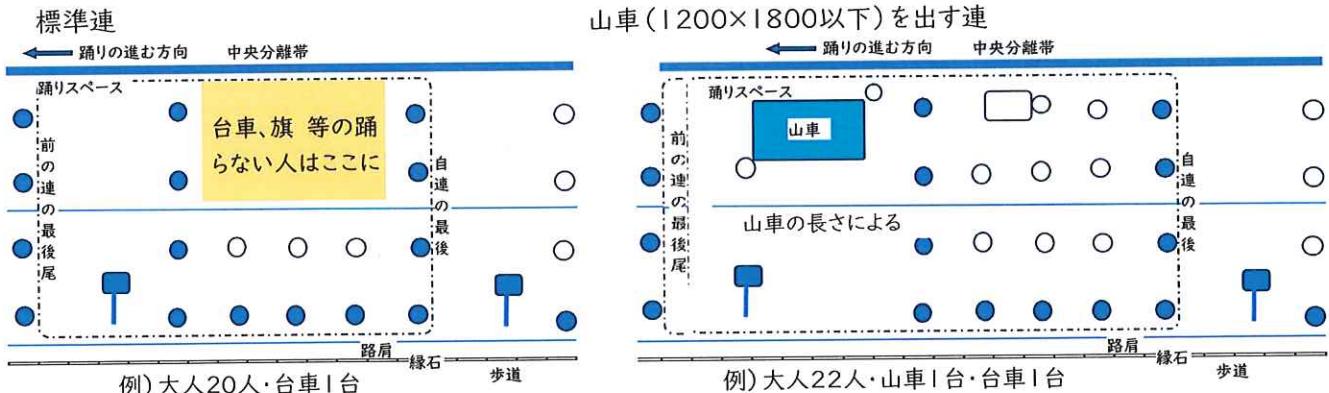
②連の構成

連の構成人数は、原則として10人以上すること（実行委員会が認める場合はこの限りではない）

但し、20人未満の連は、港橋・清水駅ゾーンの選択のみできる。

踊りスペースには、アピールボードの持ち手、台車・山車の移動者、連専属の撮影者、踊り手補助者、旗手等の登録した人以外の人が入ることはできない

③踊り方について(参考資料です、詳しくはその年の踊り方をご覧下さい)



踊りスペースは前の連の最後尾から自分の連の最後尾まで。路肩の白線の内側から中央分離帯まで。

連の踊りスペースは、見廻り頭が管理して下さい。自分の連衆以外の人は入れません。路肩では見学できません。

大きな山車、幼児の多い連等特別な連は事前にお問い合わせ下さい。

特別な連は相談により連のスペースを決定します。(参加料は踊りスペースにより決定いたします)

アピールボードを持つ人は連の先頭、歩道側にいてください。前の連の最後尾との間隔を保ってください。

列の人数は基本的に金曜日3人、土曜日4人。

連内の間隔、連と連の間隔については、参加要項に記載し連頭説明会で報告します。

幼児は3人で2人分として連のスペースを決める。

※他の連と連合を組むことにより前後で踊ることができます。

※連合希望は両日同一連との連合となります。(金・土別々の連合はできません)

④踊りスペースを設計。

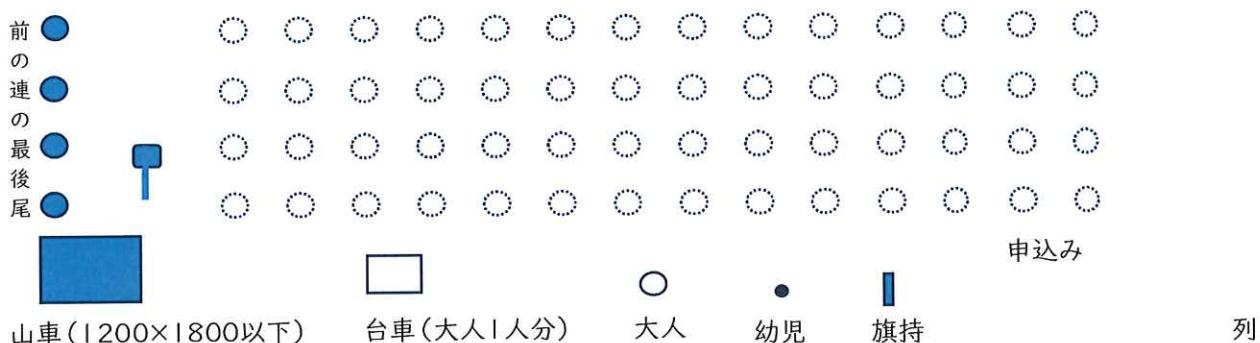
連の先頭は土曜日4名、金曜日3名。(総参加人数により変更の時があります)

踊りスペースの列数を決めてください。(申込み後の変更はできません)

踊る日は 曜日 、山車は出さない、 × を出す(最初に山車の位置を決める)

参加者は大人 人、幼児 人、台車を 台出す(台車は最前列、最後尾に置かない、中央分離帯側に)

幼児は3名で大人2人分、台車は1台につき大人1人分のスペースを当てる



3. 参加条件

前年度参加の連に3月末までに参加申込書が送付されます。

新規に参加を希望する連は新規連説明会に参加して参加申込書を入手してください。

新規連の方は、参加心得を参考に、連名、連頭、見廻り頭を決めてください。

連名は原則変更はできませんので、よく考えてお決めください。

連名には記号(☆、!等)の使用は禁止しています。当て字はご遠慮ください。

期日までに参加申込書を提出願います。

登録・参加申込書提出後「代表者」の「住所」・「氏名」・「電話」等を変更した場合は、

下記方法にて連絡をお願いします。

・E-mail minatomatsuri@minatokappore.jp

・FAX 054-351-2124

※FAX送信の方は正常に完了しているか、電話(054-354-2189)にて確認をお願いします。
・電話での受付は致しません。

連頭説明会2回、反省会に出席願います。説明会の日程は実施要項に記載しています。

※参加できるのは、各連1名のみです(座席定席)

受付開始18時30分 19時開始 入場券が必要です切り離して持参してください。

第1回連頭説明会	概ね5月下旬	踊位置抽選会を行います 参加料納入書をお渡しします
第2回連頭説明会	概ね7月中旬	参加料納入書を回収いたします バッヂ、アピールボード貼付用紙、 手形、連割り表をお渡しします
【連頭説明会に欠席した連は「港かっぽれ縦おどり」に参加できません】		
連頭反省会	概ね8月下旬	来年へ向けての話し合いです

すべての説明会、反省会に出席された連のみに来年度の参加申込書が送られます。

問合せ先 〒424-0821 清水区相生町6-17 清水産業・情報プラザ1階

清水みなと祭り実行委員会事務室 電話054-354-2189

「港かっぽれ総おどり」参加心得

目的

この心得は清水みなと祭り「港かっぽれ総おどり」が、老若男女、参加する人、観る人を問わず、すべての人にとて楽しいものとして受け継がれていくための約束事を定めたものです。

いつまでもこの「港かっぽれ総おどり」がみなさんの手で続けていけるよう協力していきましょう。

言葉の定義

連 (れん)	「港かっぽれ総おどり」に参加する団体を”連”と呼ぶ。 連には次の役割をする人を置かなければならない。
連頭 (れんがしら)	連の総括責任者(各連1名、18歳以上で高校生以下の学生不可) 連頭心得をよく読み実行してください。 ※祭り当日及び説明会に連頭が参加できない場合、代理人を参加させてください。
見廻り頭 (みまわりがしら)	「港かっぽれ総おどり」当日の連の進行、安全を管理する人。 (各連1名、18歳以上で高校生以下の学生不可) 連の進行や安全を確保するため見廻り頭心得をよく読んでください。
連衆 (れんしゅう)	登録された連で「港かっぽれ総おどり」に参加する人をいう。 連の中にいるすべての人です。連衆心得をお読みください。 連頭、見廻り頭の指示に従ってください。
台車 (だいしゃ)	荷物などを保管する押し車、動力は人力、ブレーキを付けてください。 火気厳禁です、火や発電機は使用しないでください。 人が乗車することはできませんので、子どもでも乗せないでください。 (大きさ、置く位置は参加要項に記載する)
山車 (だし)	連をアピールするための装飾を施した台車、動力は人力、ブレーキを付けてください。 火気厳禁です、火や発電機は使用しないでください。 人が乗車することはできませんので、子どもでも乗せないでください。 (大きさ、置く位置は参加要項に記載する)
「アピールボード」	連をPRする手持ちの看板で連の先頭(歩道側)に置き、前の連との区切りをつける。 (大きさは参加要項に記載する) 抽選により与えられた踊り番号により、連位置を明確にするものとする。 連の進行と共に移動しなければならない。(他の役との兼任はできません) 前の連との距離を保ち常に前を向き、連の間隔を保つように注意してください。
連札 (れんふだ)	港かっぽれ総おどりに参加する連頭、見廻り頭が着用しなければならない木札。
連割表 (れんわりひょう)	踊りのスタート位置を示した図、申込み状況により踊りスペースを振り分けた図。

禁止事項

- ① 他の連及び観客への迷惑行為、妨害行為を行わないように。
- ② さつき通り(歩道、車道含め)での飲酒、喫煙行為はやめてください。
- ③ ごみ捨て行為はしないで、ごみは持ち帰ってください。
- ④ 威圧的服装、格好(サラシ、刺青(タトゥーシールも含む)は避けてください。
- ⑤ 暴力行為は絶対に行わないようにしてください。
- ⑥ 連頭、見廻り頭への注意事項はすぐに連衆に伝えて、実行してください。
- ⑦ 連衆は連頭、見廻り頭、見廻り組の指示に必ず従ってください。
- ⑧ 「港かっぽれ総おどり」で踊る曲を、アレンジして踊ることを禁止します。

連頭心得

1. あなたは連の総括責任者、連をまとめるのがあなたの最大の仕事です。
2. 連衆への連絡は責任を持って必ず伝えよう。
3. 連頭説明会には必ず出席してください。出席できない時は代理人を出してください。
4. 申込確認書には、しっかりとサインしてあるか確認願います。
5. 第2回連頭説明会には、参加料納入書をお忘れなく。
6. 練習会やアピールボードの作成など『祭り』までの準備の指揮を取ってください。
7. 『祭り』当日は、連頭札をつけ踊り責任者として連衆を統率してください。
8. 当日参加できない人は、代理の人を任命しておいてください。

祭り当日連頭心得（代理人の方も）

1. 『祭り』当日、連頭札をつけ連をしっかりと管理してください。
2. 見廻り頭と共に前後の連に挨拶しましょう。
3. ボランティアの人たちには、率先して挨拶しましょう。
4. さつき通り(歩道、車道含め)での飲酒、喫煙はご法度。しっかりと管理してください。
5. 服装の乱れは連の乱れ、粋に着こなすよう指導してください。
6. 暴力行為を起こさないよう連を管理願います。
7. 連への注意事項はすぐに善処するように手配願います。
8. 踊りの後のごみ拾い、自分の連の周りをしっかり拾うように指導してください。
ごみを拾ったら、すみやかに歩道に撤退するよう指導してください。
9. 連衆が無事に帰るよう気を使ってください。

見廻り頭心得

1. 見廻り頭札をしっかりとつけてますか？
2. 前後の連に挨拶は済みましたか？
3. 今日は何列、横は何人、列と列の間隔を把握してください。(参加要項に記載)
踊りスペースの確認ですので、忘れずに必ず実行してください。
4. 前の連、後ろの連との間隔は広がりすぎていませんか？
5. 連衆の間隔は守ってますか？
6. 台車、山車の位置は？許可証は貼ってありますか？
7. 台車、山車には運転手が常に付いているか確認願います。(台車1名、山車2名以上)
8. 台車、山車には火気は使用できません。守ってますか？
9. 台車、山車の上には人は乗れません。しっかりと頭の中に入れておいてください。
10. 台車、山車のブレーキは確認しましたか？
11. さつき通り(歩道、車道含め)は禁酒・禁煙。しっかりと管理してください。
12. 前の連を押すような事をしていませんか？
13. 前の連との間隔が広がっていませんか？曲が終わったらすみやかに詰めましょう。
14. 踊りスペースは乱れてませんか？いつも気にかけてください。
15. 最後の挨拶もしっかりとしましょう。「おつかれさま、又、来年」
16. 参加人数が30名を超える場合には、30名毎に1名の見廻り頭補助者を指名してください。

連衆心得(踊り手一人一人が実践してください)

あいさつをしましよう

祭りの両日、楽しく踊らせていただける裏側には多くのボランティアの方々のお力添えをいただいております。警備にあたってくださる清水交通指導員の方々、地区交通安全会の方々、消防団の皆さん、地元の方々等、この方達のお陰で私達が二日間楽しく踊れるのを忘れないでください。

『こんにちは！こんばんは！』

踊り手の皆さん、誰とでも気持ちよい挨拶をかわしましょう！みんな同じ心をもった踊りの同志です。
(例えば、山登りの際は必ず、すれ違うときに挨拶します。この時の気持ちよい事…そんな感じで出来たら最高だと思います。)

『よろしく』

前後の連にはご挨拶をしましょう。また、連頭・見廻り頭を筆頭に挨拶をかわしましょう。
顔見知りになって、お互いを気遣いながら、楽しく踊りましょう。

『遅くなっていますみません』

途中で連に入る方へ。連の仲間はあなたのことを使ってはいるでしょう。
でも、後ろの連の人たちには、前の連が急に乱れることができます。
後ろの連に一言かける心遣いをお願いします。

『ありがとう、お疲れさま』

きっと皆さん全員が、感謝の気持ちを持っていると思います。
そんな気持ちを素直に言葉に現わしてみてください。
ご協力してくださった方々の疲れも癒されるはずです。
また、来年も私達の為にがんばってくれるはずです。

『ごめんなさい』

この言葉は出さないようにしたいものです。
でも、もしも何かが起こってしまったら、心をこめて言ってください。

他人の事を考えよう

祭りには踊る人、観る人、警備をしてくれる人…いろいろな人が参加しています。
あなたの連だけが、参加している訳ではありません。お互いに、お互いのことを考えながら行動することを心がけてください。

連頭、見廻り頭をたてよう

あなたの連をまとめているのが連頭です。その人の言っている事や指示は、素直に聞いてください。
あなたの連を整列させるのが見廻り頭、その人の指示に従って、きれいな連をつくってください。

さつき通り(車道、歩道を含みます)では飲酒、喫煙はご法度

連の中は、純粋に踊りを楽しむスペースです。

そのスペースでの喫煙や飲酒は、マナーの面からも厳禁です。

喫煙や飲酒をされる方は、マナーを守ってさつき通り(車道、歩道を含む)から外れた場所でお願いします。

その場合、近隣の住民の方々の迷惑にならないよう、十分な配慮をお願いします。

連のスペースは守ろう

連のスペースは申込時の人数で決まっています。それぞれの連が自分たちのスペースをしっかりと守りましょう。

申込より参加人数が減ったら、自発的にスペースを詰めてきれいな連をつくってください。

見廻り頭の方は、がんばってください。あなたの掛け声で連の動きが変わります。

進め、とまれ。アクションは大きめに、あなた独自の粹でカッコイイ合図を決めましょう。

見廻り頭がせっかくがんばって整えている連を、乱すような飛び入り行為は厳禁です。

踊りは、自分達の連のスペースの中だけにしましょう。縦にも横にもはみださないようにしましょう。

服装に気をつけて

連をアピールする素敵な衣装、奇抜な衣装、法被の下に巻かれたさらし。

でも、さらしだけの衣装は衣装ではありません。また、さらしの巻き方があまいせいか、緩んで落ちてしまうのは見た目も美しくありません。

工夫を凝らした衣装を考える時、踊っている時の事を、十分考えて決めるようお願いします。

いろいろ訳あって髪ったもの、理由はあると思いますが、他の人の気持ちも考えて、襦袢の下にそっと隠しておく気配りをお願いします。

ごみをひろおう

さつき通りは踊り手の舞台です。多くの人がその舞台を作っています。

そんな舞台を、踊り手が汚してよいはずがありません。

自分たちのごみは、自分たちで片付けましょう。

中央分離帯側には観客は入りません。そこは踊り手の責任で、ごみに気が付いたら片付けてください。

踊りが終わったら、5分間は自分達が止まった廻りのごみを拾ってください。お願いします。

すみやかに撤収

掃除が終わり廻りがきれいになったら、すみやかに歩道にあがりましょう。

あなた方が去った後、近所の人たちが路上を掃除してくれます。黙って通りすぎるのはマナー違反です。

ましてや、そんな人たちにごみを預けるなんて、マナー以前の問題です。

路上で座って話し込んでる皆さん、みんな家路を急いでいます。話し合いは別の場所でお願いします。

Uターン場所のコーンの設置、撤収にご協力ください

Uターン場所のコーンの設置は、集合時間から行われます。近くで踊る予定の連の方はご協力をお願いいいたします。

コーンの撤去は踊り終了後すぐに行われますので、近くにいる連の方はご協力お願いします。時間は5分ほどで修了いたしますので、クリーンアップ時にお願いいたします。

おどりを見学する人へのお願ひ

1. 中央分離帯での見学はおやめください。

見学者は車道で見学することはできません。

ましてや座って見学することは、踊りの妨げになりますので中央分離帯で座って見学することはおやめください。

2. 縁石に座って見学することはできません。

車道の隅は緊急時に使用します、また見廻りの人人が通行します。

縁石に座っていると通行の妨げになりますし、事故の元となりますので、ご遠慮ください。

3. 踊り連の中を通行することはできません。

踊り手は踊りに夢中になっておりますので周りが見えないことがあります。

不用意に上げた手があなたに当たるかもしれません。お互いにけがの無いようにしたいものです。踊りの輪の中を通行することはおやめください。

4. 歩行者は歩道をご利用ください、車道には降りないでください。

歩道は混み合ってなかなか通行しにくいのですが空いているからといって車道の隅を歩くのはおやめください。観ている人や踊り手に迷惑がかかります。

5. 踊り手と共に移動することはできません。

連関係者が踊り手と共に移動することはできません。歩道には見学者がいますので、移動した人が車道に出てしまうことがあります。見学者は止まって見学してください。

6. 写真を写す方は車道に降りないでください。

見学者の写真撮影は歩道でお願いいたします。

車道に出ての撮影はおやめください。路肩は見廻りの人人が通行します。

連の中で撮影する人は連衆として参加してください。

報道等で撮影する方は事前に実行委員会の許可を得て撮影願います。

港かっぽれ総おどり緊急対応について

避難誘導マニュアル～踊り参加者用～

1. 地震発生予報時または大きな揺れを感じた時

本部より直ちに踊り中止のアナウンスをいたします。速やかに周辺避難ビル等への避難誘導をお願いいたします。また、停電等により本部アナウンスが届かない時は、各自の判断で避難してください。

(事前に連割り表の避難ビル等の確認をしておいてください)

2. 突然の豪雨・雷・ひょうの時

祭り本部は、豪雨・雷・ひょう・突風等危険が伴うと判断した時は踊りを中止します。但し、豪雨にならない程度の降雨であれば、祭り本部は踊りを中止する判断をしません。その場合、連ごとに判断していただいて結構です(降雨により連が踊りを中止してもペナルティはありません)。

雨により前の連が抜けてもしばらくは連を詰めないでください。

なお、雨が上がってもう一度踊りに戻る時は、前後の連頭と調整を図ってください。

3. 祭り本部が踊りを一旦中止・再開した場合

踊りを一時中止、その後、祭り本部が踊り再開を放送した際は、中止した場所からのスタートとなります。

(但し、再参加は各連で判断してください)

4. 台風接近等による開催中止等の事前周知について

「港かっぽれ総おどり」開催の判断は、両日とも、実行委員会が午前9時(原則)に判定会を開き、中止等を判断いたします。

決定後は、祭りホームページ(<https://www.minatokappore.jp/>)へ掲載します。